

事業完了報告書（実行団体）

事業名:	児童養護施設応援企業掲載WEBサイト作成
資金分配団体名:	公益社団法人 ユニバーサル志縁センター
実行団体名:	特定非営利活動法人フェアスタートサポート
実施時期:	2021年6月～2022年2月
事業対象地域:	全国
事業対象者:	児童養護施設等の入所児童（主に中高生）、職員、企業等の法人

Version 3.2

日付: 2022年3月xx日

I. 事業概要

事業実施概要	<p>18歳での就職自立を目指す児童養護施設等の子ども達はキャリア教育の不足から、自立後のワーキングプア化が課題となっています。そこで、感染対策に配慮しながらキャリア教育を受けられるよう、会社見学や就労体験を提供してくれる応援企業の情報を掲載したWEBサイト「フェアスタートパートナー」を製作しました。</p> <p>https://fspartner.org/</p> <ul style="list-style-type: none">・サイトの立ち上げ <p>全国の企業を県や業種から簡単に検索できるよう、機能や使いやすさにこだわってデザインしました。</p> <ul style="list-style-type: none">・サイトへ企業情報を掲載してくれる協力企業の開拓 <p>プロボノとして協力していただいているSMBC日興証券の仲介等を通じてロータリークラブ等の経済団体の例会や勉強会へ参加し、卓話等で事業を説明、掲載企業の公募を行いました。掲載企業数86社 申し込み企業数106社（※2022年3月18日現在）</p> <ul style="list-style-type: none">・施設へのサイトの広報 <p>2022年1月にサイトのリリースのお知らせと利用を促す広報チラシを全国の児童養護施設、自立援助ホーム計約800か所に郵送し、広報を行いました。</p>
--------	---

II. 課題・事業設計の振り返り

課題設定、事業設計に関する振り返り	<p>感染症等に影響されずキャリア教育を届けることを目的として本事業をスタートさせましたが、現在でも状況は改善と悪化を繰り返しなかなか収束の目途がつかず、施設とのやり取りや企業とのキャリア教育はオンラインを併用することが常態化してきつつあります。当初の予定通り、サイトを通じた企業情報の提供によるキャリア教育は今後も施設側のニーズに沿った情報資源として活用されていくことと思われます。その根拠のひとつとして、施設へのサイト広報を実施した際に今後のキャリア教育に関する情報発信のお知らせを希望する施設にはメールアドレスの登録をお願いしたのですが、全国各県の施設46箇所から現在登録依頼を受け、これまで関わりのなかった地方の施設も半数ほど含まれています。</p> <p>ただ、予定していたスケジュールには遅延が発生し、サイトのリリースまでにやや時間がかかりました。全国の施設が利用する為、地域や職種別に検索しやすいデザインを追求し試行錯誤した他、制作を依頼した企業の社内事情にも左右されました。</p> <p>しかし、課題の設定から対象者へのリーチ、ニーズへの合致度などは当初の予想からは外れることなく、今後も事業を予定通り進めていきます。（498字）</p>
-------------------	--

III. 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

①受益者	②課題	③今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）（事業計画から転記）	④指標（事業計画から転記）	⑤目標値・目標状態（事業計画から転記）	⑥結果(定量化できるものは%も記載、最大100%)	⑦考察
中間支援者	相談先の不足	児童養護施設の職員が協力企業の情報をもっている状態になる	サイト掲載企業数	掲載企業数100社	掲載企業数80社 (80%) 申し込み社数100社 (100%)	目標数にほぼ近い数の企業を掲載したサイトを開設し全国の施設に広報が済んでいる状態をもってほぼ達成はしていますが、地域による偏りなどは今後の課題です。
子ども・学生	連携の不足	児童養護施設の担当職員が企業を活用できる状態になる	各施設と企業との連携事例数	企業との連携実績がある施設の割合30%	今後測定	スケジュールの遅延によりまだサイトの広報が済んだ段階で、連携事例の発生やアンケートによるそのカウントは今後行っていきます。
子ども・学生	連携の不足	企業が社会的養護のことを理解する	掲載時における各企業への説明率(事業内容、就労支援の必要性や重要性、各施設からの直接の連絡に対してお願いしたい対応等について)	説明率100%	説明率100%	掲載企業を募る際に団体が取り組む課題や事業の意義について、掲載企業側に求めることをしっかりと説明しています。他の団体が有する企業情報を共有するかたちで転載する企業情報の場合には連絡先をその連携団体先にすることで、施設が問い合わせた際に話が通じないという事態を防ぐ工夫を行っています。

IV. アウトカム（事業実施以降に目標とする状況）*

事業実施以降に目標とする状況（事業計画から転記）	児童養護施設等が入所児童へ会社見学や仕事体験等の機会を潤沢に提供できるようになる。
考察等	全国で施設と企業が連携できる体制を整備することを目指し、ファーストステップとして企業情報を閲覧できるサイトを開設、広報を行っています。まだ施設がサイトの情報を活用して入所児童へキャリア教育を提供する段階には達していませんが、次年度にはこうした具体的な動きが全国で推進されるよう地域ごとに取りまとめた企業情報をメールや電話で施設へこまめに発信するなど、サイトの活用と連携を促進していきます。こうした情報発信を希望する施設が全国で少なくとも46か所は意思表明していることを受け、今後はサイトの活用方法や企業との連携事例へのステップ等を発信し、上記にある目標状況を目指してより具体的なステップに移行していきます。

V. 活動

活動	進捗	概要
・WEBサイトの立ち上げ 利用しやすいデザインを検討し、専用業者へ委託してサイトを作成します。	計画通り	2021年7月リリース予定から時期は遅延しましたが、2021年12月にリリースしています。 全国の施設職員や入所児童が検索、閲覧しやすいようデザインを検討し、修正を重ねて委託先企業の協力のもと制作しました。
・掲載応援企業の開拓 中小企業家同友会やロータリークラブ等の経済団体を中心に広くサイトを告知し、掲載企業を募ります。	計画通り	SMBC日興証券のプロボノチーム協力のもと経済団体の卓話などの機会を通じて掲載企業を募りました。 卓話で事業の説明を行った後アンケートを各社に書いてもらい、協力してもらえる項目（会社見学、就労体験、アルバイト雇用、社員採用などの受け入れ）に〇をつけたものを回収し、後日営業スタッフが個別に連絡を取っています。
・WEBサイトへの企業掲載 開拓した応援企業をサイトへ掲載していきます。地域や業種に偏りがなければ確認し開拓活動へフィードバックします。	ほぼ計画通り	申し込みを受けた企業へ掲載担当者が連絡し、専用フォームを通じて掲載情報を集めています。 まだ掲載企業情報がない地域もあり、今後営業努力を重ねて偏りを減らしていきたいと思いますが、業種・職種に関してはかなり幅広く獲得できています。
・サイトの案内チラシ発送 サイトを告知するチラシを作成し、関東圏の施設へFAXや郵送で送付します。	計画通り	2022年1月に広報チラシを作成し、全国の児童養護施設と自立援助ホームに郵送で発送しました。
・アンケートの送付と回収と集計 関東圏の各施設へ企業との連携による就労支援の実績があるかどうかを調査、集計して%を算出する	遅延あり	まだサイトの広報から時間がたっていない為、アンケートには至っていません。 次年度、時期を見て全国の施設へアンケートを実施し、連携の実績を把握していきます。
・企業見学、就労体験のコーディネート サイトを見た施設からの依頼に応じて、個別で会社見学や仕事見学に行く日程や内容を企業と施設の間に入って連絡役となりコーディネートします。	遅延あり	まだサイトの広報から時間がたっていない為、具体的な連携実績の把握には至っていません。 次年度、この活動が全国で活発に推進されるよう、施設と企業とのファーストコンタクトのサポートや、勉強会などによる連携実績の共有、近隣の企業情報の地域ごとの発信などを実施していきます。
・掲載企業各社へ社会的養護についての説明や見学や仕事体験依頼があった際の対応について説明を行う	計画通り	掲載企業を募る際に、団体が取り組む課題や事業の意義について説明を行っています。実際にサイトに掲載の申し込みがあった企業には施設からの問い合わせに対応してもらう際の注意点などを説明し、コミュニケーションの中でその点に団体スタッフが少しでも不安を感じる企業には掲載のお誘いを控えるなどして掲載企業の理解度を一定基準以上に保つ努力を行っています。
・勉強会の開催 施設と企業との連携事例について、施設職員、企業、双方向けに勉強会をオンラインで実施	遅延あり	事業期間内の開催には間に合いませんでしたが、次年度6月から毎月開催を予定しています。 サイト利用期間を数か月間経た後に、実際に企業とうまく連携してキャリア教育を実施している施設の職員さんから事例共有をしてもらったり、団体スタッフがサイトの活用方法を具体的に発信する等の内容で全国の施設職員さん向けにオンライン開催していきます。

VI. 想定外のアウトカム、活動、波及効果など

想定外のアウトカム、活動、波及効果など	掲載企業からの紹介で宮城県の漁師関係の企業がまとめて掲載された「トリトンジョブ」というサイトをご紹介いただき、掲載されている企業を全てフェアスタートパートナーにも転載してください、というご協力をいただきました。 サイトの意義に共感し、このように自発的に掲載企業や協力機関を紹介してもらえる輪が広がっています。 また、いくつかの県の社会的養護自立支援事業の事業者が保有している県内の企業情報を提供してくれる等の事例も起きており、次年度は団体での独自開拓とも並行してこうした情報の掘り起こしと集約も行っていく予定です。
---------------------	---

VII. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

課題を取り巻く変化	本年度の活動では情報を届けるサイトの整備と広報までを実施した為、支援対象者の具体的な変化の観測はこれからになります。 しかし、これまで施設に入所中の中高生に対するキャリア教育はほとんどない、または施設間格差が激しい状態で、かつ高校3年生での就職活動時には高校を通じた就職しかほぼ選択肢がない状態だったこれまでの状態から、サイトを通じて近隣の協力企業の情報が得られ連携体制を取っていける状態へと選択肢を増やすことができました。今後、施設が近くの企業と具体的な連携体制を構築していけるよう、地域ごとにまとめた企業情報を施設へ電話やメールでお知らせしたり、施設と企業の連絡仲介を行って両者の橋渡しを実施したり、連携事例の共有や就労支援に関する情報をお伝えするオンライン勉強会を実施するなど、各地域で施設と企業が連携する地域密着型の就労支援が実施されていくよう促進していきます。
-----------	--

VIII. 他団体との連携

連携先	実施内容・結果
中小企業家同友会、倫理法人会、ロータリークラブ	連携先の経済団体の例会や勉強会などに参加し、卓話などの機会をいただいて事業について説明し、サイトの掲載企業を募りました。 開拓企業の多くがこの連携先を通じて開拓され、申し込み企業100社のうち82社がこの連携によって獲得されました。
SMBC日興証券プロボノチーム	新規企業応援開拓について営業サポートをしていただき、各支店長が所属するロータリークラブにおいてWEBサイトへの掲載協力を呼び掛けていただきました。（チラシ配布や個社へのお声がけを含む）成果は上記の通りです。

IX. インプット ※事業完了月の月次収支管理簿の金額を入力ください。（精算金額と一致させる必要はありません）

		計画額	実績額	執行率
事業費	直接事業費	4,656,350	4,656,350	100.0%
	管理的経費	0	0	#DIV/0!
合計		4,656,350	4,656,350	100.0%

補足説明	
------	--

X. 広報実績

広報内容	内容
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	
2.広報制作物等 当該事業費を使って製作したもの	企業向け掲載募集チラシ、施設向けサイトオープンの広報チラシ（※事業費は使用していません）
3.広報制作物、購入物等でシンボルマークの活用方法（事例）	
4.報告書等	2022年2月発行 団体が発行する活動報告冊子「エール」4,000部 施設退所者のインタビューや団体の活動報告を掲載し、会員や寄付者への活動報告や企業への団体紹介などに活用しています。

XI. ガバナンス・コンプライアンス実績

①規程類※の整備実績	状況	内容
1.事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。	整備中	給与規定を作成、運用を開始したが新規職員の加入等で見直しが必要となり現在改定に向けて内容を検討中。 コンプライアンスに関する規定は必要事項等をリサーチ後骨子作成中、JANPIAの外部通報窓口を周知して代替しています。 個人情報保護の規定は作成し団体が運営するHPで公開、運営を始めています。 資金管理に関する規定は実際の金銭出納の手順や管理者、管理方法など（鍵付き棚による管理、2人体制での決済確認体制など）をスタッフ間で話し合って決め運用しているがまだ文章に起こして規定として完成してはならず、こちらも段階的に進めています。
2.上記設問1で「整備中」の場合は、事業開始時と比較して、整備状況がどのように改善されたかを記載してください。		事業開始前は個人の情報を多く扱う事業内容にも関わらず個人情報保護に関する規定が定まっていなかったのですが、規定を定め公開に至ったことで団体として信用度を高めることができました。まだ規定の整備には至っていない部分についてもスタッフの間で気を付ける点として意識の高まりはあり、実際の運用を先んじて開始し現実と乖離しない内容で文章規定にしていこうという動きをスタートさせることができている。
3.整備が完了した規程類を自団体のwebサイト上で広く一般公開していますか。	一部未公開	まだ未完成のため未公開、完成次第次年度より順次公開予定です（2022年夏以降）
4.変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。	変更はなかった	
②ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1.社員総会、評議員会、理事会は、規程類の定める通りに開催されていますか。	はい	
2.利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	
3.関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	
4.コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置していましたか。	はい	
5.ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しましたか。	はい	
6.報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。 （実施予定の場合含む）（複数選択可）	<input checked="" type="checkbox"/> 外部監査 <input checked="" type="checkbox"/> 内部監査 <input type="checkbox"/> 実施予定はない	
7.本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。	いいえ	
8.内部通報制度は整備されていますか。	はい	